



県内発生豚コレラの防疫対応は終了しました。 ～引き続き警戒怠りなく、侵入防止対策をお願いします!!～

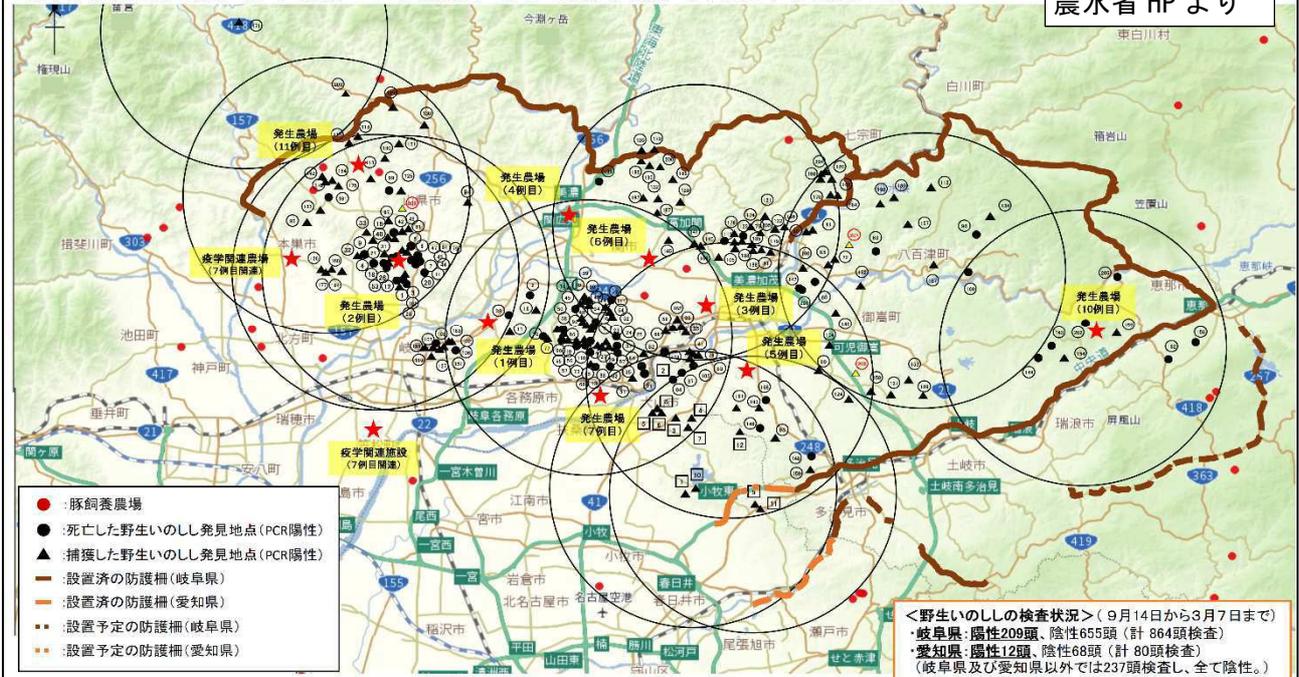
2月6日、愛知県からの導入豚により発生した宮田村の農場と松本市のと畜場での豚コレラは、殺処分・消毒等終了後続発はなく、交差が否定できなかった監視対象農場の清浄性も確認され、発生農場から半径10km以内での捕獲イノシシでも陽性はなく、3月8日24時をもって防疫対応（消毒ポイント、監視対象農場の毎日の状況報告、出荷前健康確認等）は終了しました。この間の防疫対策等へのご協力に御礼申し上げます。

岐阜県での農場発生、岐阜・愛知県での野生いのしし検出事例は止まらず

一方、先日長野県畜産広報でお知らせしましたが、3月7日に岐阜県山県市の農場で新たな発生があり、岐阜愛知両県での野生いのししからの検出も続いています。

岐阜県及び愛知県における豚コレラ感染いのしし発見地点（平成31年3月7日）

農水省 HP より



引き続き下記重要ポイント等に留意し、侵入防止対策をお願いします。

<発生予防対策の重要ポイント(抜粋)>

★人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
→ 外来者、運搬車両も。運転席、フロアマットも消毒、作業者の靴の履き替え、更衣等々の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ・人や物、豚の出入りの記録
- ・飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、70℃30分間以上又は80℃3分間以上の加熱処理を徹底

★野生動物対策

- ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管